

仙台市議会 市政活動報告 市民フォーラム仙台

令和4年 議会報告 夏号

仙台市議会議員(青葉区) **郷古正太郎**

発行：市民フォーラム仙台 編集：郷古正太郎 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1



定例会が閉会いたしました。

今定例会では物価高対策やコロナ対策の補正予算についてなど、多岐にわたる議論を行いました。私も少子高齢化を見据えた経済対策・都市経営の起業支援や、ご相談を多くいただく障がいを持つ方への支援について等、17項目を質問。我々の会派からは、いじめ問題や保育環境の整備について、また商店街の活性化に向けたデジタル商品券について等の議論を行って参りました。引き続き、仙台で暮らしてよかったと思えるまちを作るために、奮闘して参ります。

プロフィール 郷古(ごうこ)正太郎 高校卒業後中小企業勤務を経て東北学院大学入学 営業企画職を経て衆参議員の秘書11年経験し19年市議会議員初当選 市民フォーラム仙台 総務財政委員会 副委員長 宮城大学大学院にて教育社会学分野の研究中

第2回定例会の質問要旨

本会議

1. スタートアップについて

① 起業支援の窓口について

本市では飲食業や美容業などのスモールビジネスや、ITのスタートアップをしたいというニーズが異なる方々も、起業時に同じ相談窓口へ行くことになる。窓口を分けるべきと考えるが、いかがか。

答弁 経済局長

ウェブ会議システム等を活用して実績のある専門家などによる相談対応を行う窓口を経済局課内に設置する。市内の様々な起業相談窓口が持つ専門性や支援内容等の情報を発信するとともに、適切な相談先をご案内できる体制を構築していく。

② コワーキングスペースとの情報共有と時代に合わせた情報共有の仕組みについて

スタートアップ企業が集うコワーキングスペースへの役所からの情報共有が求められており、時代に合わせて柔軟性のある情報共有の仕組みを作るべきと考えるが、いかがか。

答弁 経済局長

本市ではこれまでも、企業支援団体のネットワーク会合等において、一部コワーキングスペースと情報を共有してきた。今後はウェブ上での交流の場を設けるなど、より多くのコワーキングスペースと情報共有が図れるように取り組む。

③ コミュニティマネージャーの資質向上とネットワーク構築について

各コワーキングスペースに専門性の優れたコミュニティマネージャーを常駐させるために、コミュニティマネージャーの育成やネットワーク構築の支援を進めるべきと考えるが、いかがか。

答弁

様々な分野の講師をお招きした勉強会や交流会を実施し、コミュニティマネージャーの資質向上とネットワークの構築を図り、地域全体の支援体制の充実に取り組む。

④ 起業家が活躍する都市づくりについて

本市の市政課題を起業家の皆様と共有し、市政課題解決と新たな価値を創造する起業家たちを支援し、全国に先駆けた仕組みを構築していくべきである。起業家が活躍する仕組みづくりは都市経営の視点で見ても重要であり、進めるべきと考えるが、いかがか。

答 弁 市長

複雑・多様化する行政課題や地域課題の解決にあたっては、斬新なアイデアや実行力を持つ起業家の皆様との連携が、より必要になる。幅広い分野における課題解決の取組みに起業家に参画いただくなど、この街から多くの起業家が生まれ、若者が大きな夢を持って挑戦していくことのできる環境の構築を図りながら、厳しさを増す都市間競争の中で、本市の経済の成長を図っていけるよう、全力を挙げて取り組み、この街から多くの起業家が生まれ、そして若者が挑戦できる環境の構築を図りながら、経済の成長を図っていく。

2. 障がい者福祉施策について

①計画相談の利用割合と若年層に対する相談の強化について

本市は障がいを持つ方の就労や日中活動を専門家に相談することが出来る計画相談の割合が低い。特に、障がい児の計画相談の利用率は3割であり、支援学校を卒業したタイミングで生活の幅を広げる為計画相談の比率を上げていくべきと考えるが、いかがか。

答 弁

本人の状態像やご希望に見合った計画となることが一番であると考えている。現在、計画相談を希望する方のニーズに応えられるよう、事業所への働きかけをおこなっている。

②年金更新手続きに係る診断書について

主に知的障がいを持つ方が、主治医を持たない場合、障害年金のための診断書を書いていただくことが困難であるという診断書難民の問題があり、ご相談をいただくことがある。これに対して本市においても他都市と連携し国に働きかけを行うべきと考えるが、いかがか。

答 弁 健康福祉局長

障がいの程度に大きな変化が見込まれないケースも多いことから、こうした実情についても他都市とも共有したうえで国等に伝えるなど、対応について検討していく。

③障がい者の就労・自立支援について

障がいがあってもその人が望む場所で、その人らしい生き方ができるために、就労、そしてその自立支援に向けた環境整備を求めるが、いかがか。

答 弁 市長

今年度から、重度障害者等就労支援特別事業を開始し、就労機会の創出・拡大を図っている。引き続き、障がいのある方やそのご家族、事業者の皆様の様々な声に耳を傾けながら、障がいのある方々が自分の意志で生き方を選び、そしてまた、社会の中で自立した生活を営むことができるように、各般の取組みを進めていく。

あなたの声から
勉強させていただきます!!!

仙台市議会議員 ごうこ正太郎
市政広聴シート

お名前

ご住所

TEL - -

お困りごと

※いつ頃から、何がどの様に、など詳しくお書きいただければ幸いです。

FAX.022-303-8832

いただいた情報をもとに調査し、
地域の問題解決に生かしてまいります。